

平成24年度
蓮田病院
統一標語

絆
きずな

蓮田病院広報

1月号

このたびの東日本
大震災により被災され
た方々、ご家族の皆さま
に心より
お見舞い申し上げます。
蓮田病院職員一同

日本はひとつ

蓮田病院理念
“思いやりのある やさしい医療”
“最新の高度医療”

発行：蓮田病院広報部
連絡先：048-766-8111 蓮田病院総務課
発行日：平成24年1月24日

新年のご挨拶

医療法人 顕正会 蓮田病院 理事長 前島静顕

新年、明けましておめでとうございます。
皆様にはご健勝にて新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。
昨年は何と申しましても3月11日の東日本大震災が東北地方に甚大な被害をもたらしました。一瞬にしてすべてのものを押し流してしまった大津波の恐怖は筆舌に尽くしがたいものです。それに続く福島原発事故は将来の日本人の健康問題に大きな課題を残しました。私達は可能な限りの支援を心掛けると共に自身自身の健康管理にも最大の関心を持ち続けたいものです。

私共の蓮田病院は開院以来25年となりましたが‘思いやりのあるやさしい医療’と‘最新の高度医療’の実現に日々努力を続けております。さらに地域の診療所や病院間の医療連携の輪を広げ皆様がさらに安心して地域内ですべての医療が受けられるよう目標実現に向けて努力致します。本年も宜しくお願い申し上げます。

病院長 石田孝雄

蓮田病院は、外科手術の国手、前島静顕博士によって昭和63年に開設されました。以来四半世紀にわたり、地域の中核病院として皆様方の信頼とご支援を賜り発展して参りました。今、私たち医療に携わるものに求められるものは、一に患者様の健康回復への熱い心と、それを裏付ける確かな医療技術です。スタッフ全員が皆様の健康回復と健康維持のお手伝いをさせていただくことに誇りと使命を持っております。

私自身は、前島博士の後輩として薫陶を受け、消化器外科を中心とする外科治療をライフワークとしておりますが、当院では外科疾患だけではなく、内科疾患を始め専門に偏ることのないような様々な病気を診させていただいております。新しい試みとして、「総合診療科」という科目を担当し、当院の専門医への橋渡しの役目をつとめています。専門性に偏ることがないように、また、「木を見て森をみず」のたとえが医療現場でおこらないよう心がけております。「どこの科にいったらよいかわからない」、「どこへいっても、なかなか治らない」という方は、どうか気軽にご利用ください。蓮田病院がそのお手伝いをさせていただきます。

さて、当院の目標である、優しい暖かな医療と、高度な専門性を維持することは、私どもの至上の目標です。たゆまない医療技術に対する探求心と、患者様への優しさとおもいやりを両輪とし、地域完結型の総合病院として、高度な最新医療をお届けしたいと思っております。皆様がより健やかに暮らせるよう職員一同精進する所存です。どうかよろしく願いいたします。

平成24年1月吉日

平成24年 蓮田病院公開講座の 開催予定

ご注意：右記の講演予定は
変更になる場合があります。

蓮田病院公開講座のお知らせ

日時：平成24年2月3日（金）

14：00～15：10

場所：蓮田病院C棟6階 談話室

参加無料

問い合わせ：蓮田病院 病診連携室

Tel 048-766-3660

実施日	講演者	演題
2月3日	総合診療科医師：石田孝雄	高齢者肺炎の診断と治療
	管理栄養士：高橋佳菜	肺炎予防：家庭でできる嚥下食
4月6日	外科医師：長谷川久美	乳がんの早期発見と最新治療
	放射線技師	いろいろある乳がんの画像診断 —マンモグラフィ(乳腺X線)、CT(X線断層撮影)、 エコー(超音波)、MRI(磁気共鳴装置)の長所・欠点—
6月1日	循環器内科医師：那須学	狭心症・心筋梗塞の診断治療について
	管理栄養士	心疾患：病気で上手に選ぶ栄養素
8月3日	耳鼻咽喉科医師：合津和央	睡眠時無呼吸症候群の診断と治療
	保健師：藤田舞	今日から始める体重コントロール
10月5日	整形外科医師：金谷幸一	歩いていると、あしにシビレが出たりしませんか？ —腰部脊柱管狭窄症のお話—
	理学療法士	運動療法で腰痛の改善・予防
12月7日	歯科医師：石橋直美	肺炎の予防：自宅で行う口腔ケア
	言語療法士	肺炎の予防：誤嚥性肺炎の自己診断と予防法

一生現役をめざして

新年のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

本紙健康セミナーに掲載させていただいてからすでに194回目となり、15年間継続して、毎月、各専門医が役に立つ医療情報をお届け致しております。毎年年頭には私が毎年1年間の出来事を中心に私感をお伝えしております。

平成18年年頭の私の拙文を読み直してみましたところ、自分の周囲の出来事や世界中の政治、経済、数え切れない程の事件や天災が全く同じように繰り返されていると書かれていました。さらにその出来事のふり幅が次第に大きく、大きくなっていると。まさにその通りで、昨年の3.11東日本大震災は我が国ではかつてない未曾有の出来事であり、今も尚、被災地では寒さに耐えながら、極めて厳しい生活を強いられています。地震ばかりでなく豪雨や強力な台風、火山や火事なども世界各地で発生し、地球規模で起きるこの現象は、温暖化と関係あると思えてならないのです。さらに加えて東日本大震災がもたらした極めて大きな問題は原発事故による被爆問題です。原発の是非については世界中で大いに議論すべきと思います。

アメリカ経済の破綻やギリシャから始まったヨーロッパ経済の崩壊が我が国にも及び国家の将来に大きな不安をもたらしています。国家財政の危機は私たちが直接関与する医療や介護の将来へも大きな問題を投げかけています。何と言っても世界一低医療費で全国民に平等な日本の医療はTPP問題などを契機として先行きに大きな不安をかかえています。しかし私達医療人は世界一の健康長寿国を守り、世界一幸せな国を実現させたいと願っています。

顕正会蓮田病院 理事長 前島 静頭

埼東よみうり新聞に平成24年1月3日掲載

平成20年7月1日より、生活習慣病予防のための特定健康診査などの健診業務を行う「検診センター」を設置しました。

《検診センター 御紹介》

日本は世界有数の長寿国であります。高度経済成長による生活環境の変化や食生活の変化により、悪性新生物(がん)や生活習慣病(糖尿病、肥満、高血圧、脂質代謝異常)が増加傾向にあります。健康で長生きすることは我々人類の理想であります。個人で健康増進に励んでもそれを個人が客観的に評価することは困難で、症状が出現してからでは手遅れになることも少なくありません。皆様の健康状態を最新の技術を用いて診断し、皆様の快活な人生のお手伝いをすべく平成20年7月に検診センターを設立いたしました。皆様の検診記録は時系列で保存され、蓮田病院の医療システムとデータを共有しているため、検診にて異常が見られた場合の対応も、より早く、より深く対応できるものに構築いたしました。



当検診センターが皆様の健康生活増進の一助になれることを願ってやみません。

センター長 兼子順

検診センターでは、1年に1度の人間ドックのご受診をお勧めしています

半日ドック ¥45,000(4時間程度のコースです) 入院ドック ¥85,000

❖人間ドック受診料の補助が受けられます❖

国民健康保険に加入されている方は、市町村より人間ドック受診に補助金の支給が受けられます。(蓮田市と白岡町にお住まいの方は補助金が27,000円、久喜市にお住まいの方は補助金20,000円)

※申請方法など詳細は、お問い合わせ下さい。

❖人間ドックで受けられる検査❖

- ・身長・体重測定 ・心電図
- ・上部消化管内視鏡(または造影)検査
- ・腹部超音波検査 ・便潜血検査 ・肺機能検査 ・尿検査
- ・胸部X線検査 ・聴力検査 ・眼科検査
- ・採血検査(貧血、肝機能など) ・診察

(オプション)

- ・頭部MRI/MRA検査 ・腫瘍マーカー検査 など



その他の検査項目も充実しております。詳細は当センターへお問い合わせください。